

The 40th Anniversary

OSAKA MEN'S CHORUS

大阪市助成公演



創立40周年記念

第32回リサイタル

2005.1.30(日)PM2:00開演

いずみホール

主催 OSAKA MEN'S CHORUS



OMCフレンズのフネです！

波平さんの奥さんとは違いますよ。見れば分かりますね。

OMCの女性ファンのことをOMCフレンズって言うんです。

本当ですよ。私の他にもたくさんのフレンズが来ています。今日の演奏会は凄いらしいですよ。笑いあり、涙あり、ロマンあり、スペクタクルあり。

いったいどんな内容なんでしょうね。それなりに練習してきたみたいなので、最後までゆっくり平常心で楽しみましょう。

あっ、それから携帯から音が出ないようにキチンと手なずけて下さいね。



プログラム

第1ステージ

Sea Chanties

Leave Her Johnny
The Erie Canal
The Golden Vanity
Boston Come All-Ye
Fifteen Men on a Deadman's Chest

指揮 石津佳彰
ハーモニカ 小倉 剛 ギター 大賀 拓也
ウッドベース 加藤 克雄 アコーデオンの 鈴木 真
リコーダー 芦田貴雄

第2ステージ

マリア賛歌

Ave Maria (Javier Busto)
Ave Maria (Edvard Grieg)
Ave Maria Stella (Franz Biebl)

指揮 安井直人

第3ステージ

男声合唱曲「島よ」 男声版初演

指揮 大中恩 ピアノ 岡本佐紀子

第4ステージ

「大中恩の世界」

ふるみち
じゃあね
幌馬車
サっちゃん
おなかのへるうた
かぜのなかのおかあさん
いぬのおまわりさん
バナナを食べるときの歌
すっからかんのかん
指揮 大中恩 ピアノ 岡本佐紀子

～ 休憩 ～

15分ほど
休憩で～す



解説

第1ステージ

Leave Her Johnny

確か船長が言ってたよな
明日給料を払うってさ
船の仕事ももうすぐ終るんだ
さあみんな、さっさと船を降りようぜ
明日給料が出る事だしさ
長い航海もようやく終るんだ

船の仕事はきついけど給料は安いよね
とっとと荷物をまとめて降りちまおう
船の仕事ももうすぐ終るからさ
さあみんな、さっさと船を降りようぜ
とっとと荷物をまとめてさ
長い航海もようやく終るんだ

帆もたたまれ、仕事も終わった
でも降りる前に1曲歌おうか
船の仕事も終わったしさ
さあみんな、さっさと船を降りようぜ
でも1曲歌って降りようか
いや、もういいや、さあ、終りだ終りだ!

The Erie Canal

俺の飼ってる船引のラバはサラという名で
これがまたよく働かし、長い付き合いなんだ
景気のいい時なんか、木炭や干草を満載した
大きなはしけをいくつも引いて行ったものさ
そして俺とサラのコンビは
オルバニーからバッファローまでの
この運河を隅々まで知り尽くしてるのさ

おっと低い橋だぞ、気をつけろ、みんなかがめよ!
低い橋が出て来たら、もうすぐ町中だとわかるのさ
この運河を通った事のあるやつだったら
そんな事は先刻承知だよな、相棒!

さあそろそろ、おまえの最後の面倒を見てやらないとな
俺がおまえを手放す事は絶対ないだろうと
ひたすら信じてここまで一緒に来てくれたんだからな
さあ起きろよ、水門だ、おまえの出番だぞ
6時にはロームに着くだろうよ
もうひと頑張りしてくれよな、今度は
故郷のバッファローに帰るんだからさ

The Golden Vanity

昔々、ローランドの海に行く船がありました
その船の名はゴールデン・ヴァニティー号
ある時スペインの船に出くわし
どうしよう、やられてしまうと船長は心配しました

するとキャビンボーイが進み出て言いました
もしも向うまで泳いで行き
敵の船を沈めてきたら
何をくれますかと船長にたずねました

船長は答えて言いました
もしも敵を沈めてきたら
金銀財宝だけでなく
わしの娘も嫁にくれてやる!

それを聞いたキャビンボーイは
勇敢にもざんぶと海に飛び込み
敵の船まで泳いで行き
船底に穴をあけ、沈めてしまいました

<このあと、こんな話が続きます>
目の前の不安の無くなった船長は、
少年に褒美をやるのが急に惜しくなり、
戻ってきた彼を船に引き上げず、
力尽きた少年は溺れ死んでしまいました
それ以来その船は、ゴールデン・ヴァニティー
(黄金の虚しさ、びかびかの虚栄心)
と呼ばれるようになりました

Boston come all-ye

若い氷夫達は、こっちへ来てワシの話の聞けよ。海の魚
の歌を歌ってやろう。

* 風よ、西へ吹け。ワシらは南へ向かうぞ。
最初にやって来たのが、一番でかいクジラだ。やつはマ
ストに登って、
帆を全部おろしちゃった。*
次にやって来たのが鰻模様のサバだ。こいつは帆足綱を
引っ張って船を操った。*
さて、お次はマクベなタラだ。そいつは投鉛台に行って
水深を測った。*
最後は地面のように平べったいヒラメだ。ヤツはタラに
こう言った。

「マクベめ! しっかり水深を測るんだぞ」*

Sea Chantyの
OMCオリジナル歌
ですって



Fifteen men on a dead man's chest

死人の箱にゃ15人
ヨッホーホー、それからラム酒がひと瓶と
残りは酒と悪魔が持って行った
士官は水夫長の話(もり)でやられ
水夫長はマーリンズパイキで頭を割られているし
コックの喉はたぶん10本の指で
かきむしられている
それで、みんなそこに横たわっている
まるで、酔っ払いばかりの隠れ家での朝のように

乗組員は15人
ヨッホーホー、それからラム酒がひと瓶と
死人には口なし
(残りは酒と悪魔が持って行った)
船長は血洗いの斧で頬を割られ
頭に血を流して死んでいる
そして血洗いは16回(4x4)も刺されている
それで、みんなそこに横たわっている
上を向いた目に一日中雨が降り注ぐ
やがて暗い日暮れとよどんだ朝が来る

死んで硬くなった15人
ヨッホーホー、それからラム酒がひと瓶と
乗組員の10人が殺された
彼らのつぶれた頭には、大きな刀傷が鉄砲玉の
大きな穴があいていた
そして排水溝は血のりであふれていた

何てこったい、今ここに転がっているやつらは

たぶん地上の楽園を目指したに違いないが
結果は全く逆の地獄に落ちてしまったんだ

とても忠実な15人
ヨッホーホー、それからラム酒がひと瓶と
水夫たちは皆、ピュー爺さんといっしょに
天国に船出してしまった
箱にはスペインの財宝がたくさんあり
船倉には1トンもの金貨があり
数えきれないくらいの戦利品で
船室の騒ぎといたら言葉じゃ表せないくらいだ
そして彼らは、まばゆく光る金貨を
にぎりしめたまま横たわっている
しかし、やつらはものも言えない
その間われわれは大きめに分けた

死人の箱にゃ15人
ヨッホーホー、それからラム酒がひと瓶と
残りは酒と悪魔が持って行った
やつらをメインスルで包み込み
ロープで20回巻いた
そして、それを海へ放り込んだ
それで、よっこらしよとおさらばだ
そして、深く暗い海へ
10尋ほど地獄へまっしぐらだ

第2ステージ

Ave Maria

Angelus Domini nuntiavit Mariae,
et concepit de Spiritu Sancto.

*Ave Maria, gratia plena;
Dominus tecum;
benedicta tu in mulieribus,
et benedictus fructus ventris tui, Jesus.
Maria dixit; Ecce Ancilla Domini,
fiat mihi secundum verbum tuum.

*Repeat
Et Verbum caro factum est,
et habitavit in nobis

*Repeat
Sancta Maria, Mater Dei,
ora pro nobis peccatibus,
nunc, et in hora mortis nostrae. Amen.

主の天使がマリアに告げると、
マリアは、聖霊によってみごもりました。

*おめでとう、マリア、恩寵に満ちた方、
主はあなたとともにおられる、
女性のうちで祝福された方、
そしてあなたのお腹の子、イエスも祝福されている。

マリアはこう言った：わたしは、主のはしためです
おことばのとおりになりますように。

*Repeat
みことばは、人となり、
わたしたちのうちに、住まわれました。

*Repeat
聖なるマリア、神の御母、
罪人なる我らのために祈りたまえ、
今も、我らの死の時も。アーメン。

Ave maris stella

Ave maris stella, Dei mater alma,
at que semper virgo, felix coeli porta.
Solve vincla reis, profer lumen caecis,
mala nostra pelle, bona cuncta posce.

Vitam praesta puram, iter para tutum,
ut videntes Jesum, semper collatemur.
Sit laus deo patri, summo christo decus,
spiritui sancto, tribus honor unus, Amen.

めでたし海の星、祝されし神の御母、
乙女のままなる方、恵まれし天の門。
罪人の鎖を解き放ち、盲人に光をもたらし、
我らの悪を除き、すべての善きものを願いたまえ。

清らかな命を授け、安全な道を用意し、
イエスを見させ、共に喜び続けられるように。
父なる神に賛美を、至高なるキリストと、
聖霊に賛辞を、三位に唯一の誉れを。アーメン。

■ Javier Busto (ハビエル・ブスト)

1949年、スペインのバスク地方に生まれる。本業はお医者
さんで音楽は独学。親日家で知られ、神戸中央合唱団の委嘱
による「Missa pro defunctis」をはじめ、松下中央合唱団
など、日本の合唱団のために数多く作曲している。

■ Edvard Grieg (エドヴァルド・グリーグ)

1843-1907。ピアノ協奏曲イ短調や「ペール・ギュント」
などで知られるノルウェー国民主義音楽の最大の作曲家。ノ
ルウェーのフィヨルドを愛し、北歐的な哀愁のある、美しい

景色の音楽を書き続けた。

■ Franz Biebl (フランツ・ビーブル)

1906年ドイツに生まれる。ラジオ局の音楽ディレクター
を勤めた。多くの男声合唱曲を作曲したが、このAve
Mariaはグレゴリオ聖歌と合唱が織りなす比類のない美
しさで最もよく知られている。

第3・4ステージ

「島よ」を混声合唱曲として作曲したのは、1970年の9月でした。伊藤海彦さんの詩による作品は、それまでも沢山ありましたが、文化庁芸術祭参加作品として、伊藤さんは私を指名して、ニッポン放送から委嘱されたものでした。男の宿命を全て担っているかのように見える「島」の詩を見て、私のために書いてくれた伊藤さんの心が、即受け留められたようにスムーズに、一気に書きあげたことを思い出します。

たしかにこの曲は、私の作品の中で、数多く演奏されているものなので、その後、男声合唱として歌いたいとか、女声合唱として……というような要望が多くありました。初めて詩を見た時から頭の中で、混声合唱としての組み立てで発進してしまった私には、何度頼まれても応える気持ちにならず、お断りしつづけていたのですが、畏友澤田文彦さんの頑固なまでの要望で、何と、女声合唱用の編曲をしてしまいました。1999年、澤田さんの合唱団のアルトが、余りにも魅力的だったからかかもしれません。どうせやるなら……男声合唱のほうが、より面白く書ける、と思っていたものでした。2003年、大阪メンズコーラスから、そのような依頼を受けた時は、

本当のところ「一丁やるか!!」と言った気持ちだったような気がします。

作曲・編曲以後に関しましては、昔から解説じみた説明をすることを好まない私です。聴いていただいて、どう感じられたかを。こちらが聞きたい——というのが本当のところですよ。

小作品やこどものうた集も、また同じです。「島よ」のような作品と、あのようなステージは、全く違った雰囲気になります。勿論自分の作品ですから、どちらも心を込めておとどけするわけですが、私としては小品を楽しく聴いていただくほうが、寧ろ大切な仕事であり、合唱の本質をくりひろげる喜びのように思っています。日頃真面目に生活の仕事に励んでおられる男性諸君、学生時代から几帳面な男声合唱を習得されて来た方々に、「島よ」とまた違ったオトコを発見してもらおう貴重なステージを創ってくれるのではないかと……とねがっています。

楽しく歌います。楽しく聴いてください。

ありがとうございました。

大 中 恩

大 中 恩 (おおなか めぐみ)



- 1924年 東京生まれ。お父さんは「椰子の実」で有名な作曲家大中寅二。
- 1945年 東京音楽学校(現 東京芸大)作曲科を卒業。
- 1955年 中田喜直氏ら5人で「るばの会」を結成。こどものための音楽創作と発展につくす。「いぬのおまわりさん」「サッチャン」など多くのうたが創られた。1958年、1961年には芸術祭賞を受賞。

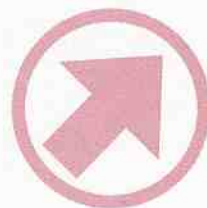
- 1957年 自作品のみを演奏する、合唱団「コールMeg」を主宰。東京のみならず、北海道から九州に至る各地で大中作品を演奏発表。ユニークな合唱団として名声を博したが30年を期して1987年に解散。
- 1961年 「第1回歌曲の夕べ」を開催。以後、畑中良輔、中澤桂、平野忠彦、島田祐子、水野賢司、田中純、小泉恵子、北原聖子各氏らの協力を得て、精力的に作品を発表、演奏会を重ね、現在に至る。
- 1965年 混声合唱「煉瓦色の街」で第21回芸術祭奨励賞を受賞。以後、女声合唱組曲「愛の風船」(1966)、男声合唱曲「走れわが心」(1968年)、混声合唱曲「島よ」(1970年)で芸術祭優秀賞を受賞。
- 1982年 「いぬのおまわりさん」「サッチャン」「おなかのへるうた」等を集大成した「現代こどものうた秀作選・大中恩選集」で第12回日本童謡大賞を受賞。
- 1989年 紫綬褒章受章。
- 2004年 童謡文化賞受賞。

ジャーナル

これはOMCの機関紙第1号の復刻版です。

原版は手書き原紙を青焼きしたものでした。創立6年後に誕生し、いろいろ形を変えながら今も続いています。現在の名称は「航海日誌」、月刊です。今月でナナ、なんと885号です。

ホームページ (<http://www1.ocn.ne.jp/~omc/>) からPDF版をダウンロードできますよ。一度ご覧になってね!



- ① 京都会場で行われた関西合唱コンクールのことです。OMCは金賞でした。この時の審査員に大中先生もいらっしゃったんですって。
- ② いまだに恒例なんですよ。途中から「夏のパカンス」と呼ばれるようになりました。縮めて「夏パカ」って言うそうです。
- ③ 「脚長く酒好き女の子にもてる」これが40年続くOMCのコピーです。脚長くとはスマートな姿、それは良いところを見せる例え。良いものは出し合おう。酒はフレンドシップの代名詞。私もあなたも一期一会、仲良くしよう。女の子に「もてたい」のは男の幻。幻は追い続けよう。と、こんなスピリットだそうですよ。



O.M.C. ジャーナル

第 1 号
46.8.2.
OSAKA
MEN'S
CHORUS
機関紙

第3回リサイタル12月12日(日)に決定

あと19回。月曜日だけ練習するとすれば、これだけリサイタルまでの練習回数である。

今年度の総会ではリサイタルと10月24日に行われるコンクールのために、数回の合宿が追加されることになり、渡辺が中心となって場所を物色中である。

慣例では土曜の夕方から日曜の3時過ぎまでということになっているが、9月18、19、10月16、17日あたりが現在候補日としてあげられており、浜野の世話により過去3回合宿している和歌山淡輪の大阪証券組合保険寮が9月に借りられれば、参加人数確認の上、豪華な夕食と荒田説法を聞くことになりそうだ。なお今年度は今までのセーターでの出演がやまんなり化したとの判断で、帝人顧問デザインナーに依頼しての背広作成による出演となる。この費用15000円については分割払いとなっているが、初回払い込み(8月中)のあとで練習場にて採寸するので、初回分5000円(若干の例外有)の準備を今からすめられたい。又、今年度の役員はとりあえず次のように決められた。

キャプテン 足立 指揮者 林 マネージ

ヤー 柏原、会計 平野、トップ 南野、セカンド 石津、バリエーション 筒井、ベー ス 若井。しかし O.M.C. の場合非常に多くの行事が開催されるので、その時々適した幹事役が選任されることになる。又、曲目については現在検討中で、コンクールに歌う予定の「碑(いしづみ)」と共に、早急に決定したいので各位の意見を寄せられたい。

夏の小豆島合宿無事に終了

創立以来恒例となっていた夏の夏の合宿は小豆島にて7月23日〜28日、33名の参加を得て盛大に挙行。参加者足立兄妹、林、柏原一家四人、平野、南野、石津、筒井兄妹、河野嬢、井崎嬢(いづれも三和銀行)、砂場兄妹、前川嬢、藤川兄妹、浜野、山下、川端、渡辺、半田、荒田兄妹、池田、松田、石崎、金森。岩井より資生堂化粧品品の派遣その他平野のマーテル・コニヤック、渡辺のサントリー広告用浮袋、小銭入れ、帝人海水パンツ(御用)などが参加

した。トヨベツトスーパーサルーンで横浜からはせ参じた金森は、山下と姫路港で検印なしの洋毛クを持つていたため、密輸業者の疑いをうけ姫路警察に5時間拘留の後、ヘトヘトになって到着。連日の麻雀でも一度も勝てずツキに見放されていたが、25日の竹生海岸より対岸への遠泳ではトップで泳ぎきりウサ晴らしをした。なおこの遠泳を泳ぎきって夕食時に表彰を受けたのは松田(メガネをとった方がイイ男だということを確認)、

【海賊のタフさ】その一
「・・・と云うわけで、さっき言った様な女の話は又いつか合宿の時にも話すとして本筋に戻す。

昨日もある友人から「君、O.M.C.に入ってるんだね!この間ひよんなことから演奏会へ行っただが、君がメンバーだと知って驚いたよ。一人一人の個性が非常に強いらしいが、あの指揮者の音楽の方がそれを超越していた。実に素晴らしかったよ。来日したロジエーとは又別の意味で楽しかったね。ほとんどが音大卒でないといふのに、よくもハイレベルでそろっているもんだ。面々はいつだいな所に勤めているの?それに指揮者の表現の豊かさはすごい」
僕が O.M.C.に入ったのは創立の翌年だ。苦手な英語の歌ばかり唱つて

横濱からは金森も参加した。来年は八丈島を計画した。トヨベツトスーパーサルーンで横浜からはせ参じた金森は、山下と姫路港で検印なしの洋毛クを持つていたため、密輸業者の疑いをうけ姫路警察に5時間拘留の後、ヘトヘトになって到着。連日の麻雀でも一度も勝てずツキに見放されていたが、25日の竹生海岸より対岸への遠泳ではトップで泳ぎきりウサ晴らしをした。なおこの遠泳を泳ぎきって夕食時に表彰を受けたのは松田(メガネをとった方がイイ男だということを確認)、

M.C.、それでも絶対に入りたい。ヨシ! 恥ずかしいが指揮者に直談判と決心した。あの時の気持ちは今も忘れられない。数ヶ月もたつたあの時の謙虚な気持ちは吹っ飛んで、こうすれば、ああすればとオセツカイをやってしまう。でも余計でないオセツカイは・・・皆も大いにやろう。

合唱団を長く続けるだけなら簡単だ。僕でも17年間ヴァイオリンを続けている。問題は O.M.C. だ。今が勝負どころ。「脚が長く」の前に「音楽」ができること云々ことを忘れては。慣れとはこわいものだ。脚長く、女の子にまで酒が飲める。このキャッチフレーズを活かすぞと。とが「気が向いたら」とか「言葉に置き換えて聞いておかないと、大変な間違いをおかすことになるぞ。」

川端、山下、石崎(過去100以上泳いだこと無し)というの意地で泳ぎきったの5名で、荒田、浜野、平野、筒井兄妹、前川、足立妹、渡辺、林は途中、又は最初、又は最後に参加。足立兄、藤川妹、筒井兄、石津、岩崎、河野はボートの運搬又は船長を担当した。対岸でとったアサリ3kgの行方は不明である。夜「月光」(喫茶店)へ行く途中砂場兄妹は昔を思い出して最後尾を離れて歩いた。この時渡辺は O.M.C. と別行動して海を見ていたと後から告白した。平野の証言によれば「結局一緒にボートに乗った3女性が居なかったということ

かすにはもともと努力がいる。でも O.M.C. には酒の付き合いがある。楽しみの一ツだ。発声の本にも酒が絶対に悪いとは書いてなかった。この点みなよく分かってもらいたい。何年か先にはポスト欠員で補欠メンバー募集のチラシを配れたらなと思っている。そのためには各自の歌のテクニック、音楽性も含めてをもっともっとみがかきたい。そのためには楽しみながらカンパナクツチャー!

山下は「絶対に大丈夫だ」とか「セツタイ電話するよ」とかセツタイという言葉をよく使う。この場合は「もしかすぞ」とか「気が向いたら」とか「言葉に置き換えて聞いておかないと、大変な間違いをおかすことになるぞ。」

岩井は車マニアで一日800kmも走破した事があるが、泳ぎは800m限度 O.M.C. で一番の恐妻家はリサイタルでロシア語のソロをした男だと小豆島の合宿の際に決定された。O.M.C. でサウナに行つて、そこから母親に電話をかけて居場所を報告したのはアラケンただ一人である。平野はビールしか飲まない。である。麻雀の勝利者は山下、石津。ゴルフのスコアは金森(46・52)、足立(66・52)、浜野(65・62)、山下(83・69)。なおボートで沖に出た藤川兄妹は遭難寸前の令嬢を救助した。費用は1泊2食1600円。その他雑費1日500円であった。幹事 川端、石津、(おまけ)。

前回リサイタルからのおゆみ

2003年	11月 12月	第31回リサイタル (いたみホール) YWCAクリスマス会出演 (大阪YWCA)
2004年	1月 2月 7月 9月 10月	出帆式 (スパワールド) アフター出帆式 (天王寺動物園) 関西フィル定期演奏会「魔弾の射手」出演 (ザ・シンフォニーホール) JAMCA東京参加 (すみだトリフォニーホール) 敬老演奏会 (虹ヶ丘) 第40回夏のバカンス (夕日ヶ浦) 敬老演奏会 (ケアヴィラ伊丹) 大阪市市民局「しごと情報ひろば」記事掲載
2005年	1月	出帆式 (紀伊見荘) 第32回リサイタル (いずみホール)

これからも、
応援ヨロシク!



メンバー

◇ トップ

栗津重光 五十嵐強
豊田千之 長友伸吾
中村文雄 服部光代
藤川文義 藤原敏男
南本豊樹 村川真人
米岡 泰

◇ バリトン

有田仁一 池田泰延
石津佳彰 岩間克昭
湯本 節 柏原正邦
加藤克雄 左手豊文
都築義高 毎野正紘
松岡康生

◇ セカンド

芦田貴雄 足立誠也
安藤邦昭 斉藤 蔚
佐竹広吉 鈴木 真
安井直人

◇ ベース

岩井 爽 宇野健一
久保 毅 田中龍一郎
中西純三 藤川雄紀
堀 清 簗津正尚

ピアノ

岡本 佐紀子 (おかもと さきこ)



大阪音楽大学卒業。永井淳子氏に師事。卒業後、1988～91、大阪音楽大学伴奏助手 (指揮法、管弦打楽器伴奏担当)。また、オペラリハーサルピアニストとしての研鑽を積み、1988からは、関西歌劇団において活動を開始。1990～、大阪音楽大学、ザ・カレッジオペラハウス、また1998より、びわ湖ホールにてコレペティートルとしての仕事を務める。1981、関西フィルハーモニーとピアノコンツェルトを協演。ピアノソロリサイタル開催。1998～1999、文化庁芸術家在外派遣研修員としてローマに留学し、ローマ歌劇場首席コレペティートル、スティープン・ローチ氏に師事、またローマ在住コレペティートルの、カタルディ・タッソー二氏のアシスタントピアニストを務め、その資質を高く評価された。帰国後は主にカレッジオペラハウス、びわ湖ホールにおいて活躍中。著名な指揮者、演出家、歌手からの厚い信任を得ている。イタリアオペラの指導を得意とし、レパートリーは40演目を超える。また、美しい音色と豊かな音楽性で歌曲伴奏者としても活動し、2003年には伴奏者としてのリサイタルを開催、フランス歌曲のプログラムを好演し、好評を博した。

募 集

今回の公演をご覧になって「あんなに面白そうなら試しにやってみよう」という方のご参加をお待ちしています。今年の7月2日には東京のすみだトリフォニーホールで、日韓親善男声合唱演奏会に出演します。東京リーダーターフェルと韓国男声合唱団とジョイントします。この貴重なステージをご一緒しましょう。

◎練習日時

毎週月曜日 18:30 ~ 20:45 および
毎月第4日曜日 9:30 ~ 16:30

◎場所 毎週月曜日は「梅田東生涯学習ルーム」

阪急梅田駅が最寄。ヤンマーと百又ビル間の小路に入って20m程です。元小学校の校舎を利用した施設です。毎月第4日曜日は主に西宮方面

※練習会場は変更になる場合がありますので、確認してからお出でください。

◎会費 月3,000円ポッキリ 学生は1,000円ポッキリ

◎問合せ Tel 075-982-4096(有田)

E-mail jarita@galaxy.ocn.ne.jp

◎本日のご感想はBBSへ

<http://www1.ocn.ne.jp/~omc/>

